



裏磐梯だより

No.93

2018年11月



▲木々が映り込む曲沢沼

落葉樹は葉を落とし、磐梯山には雪が積もる季節となりました。いよいよ秋も終わり、長い静かな冬がやってきます。

さて、そんな冬が間近に迫った裏磐梯では、四季の移ろいとともに数多くの湖や沼ならではの魅力のある風景に出会うことができます。そのなかでも密かな絶景スポットと言われる沼があります。裏磐梯の湖のなかで一番小さな湖、曾原湖の北東の奥まったところにある美しい木々と澄んだ水のなかにたたく冬枯れの木々が印象的な「まがりきわぬま曲沢沼」です。

とくに秋には、沼のまわりの木々の黄色や赤、橙に色づいた葉に陽光が差し込むと、紅葉した木々を水面に映し出す神秘的な沼へと変貌します。そして、初冬には真っ白な雪が降り積もった木々が水面に映り込んで、あたかも墨絵の世界を彷彿とさせるような幻想的な光景を創りあげます。これからは冷え込む日が次第に多くなってきますが、暖かい格好をして冬の曲沢沼を訪れてみてはいかがでしょうか。